



コンパクトシティを実現する 「富山まちあるきICTコンシェルジュ事業」

代表提案団体 富山市
共同提案団体
(株)インテック、富山大学、富山県立大学、
(株)まちづくりとやま、富山地方鉄道(株)、
(株)ケーブルテレビ富山、
日本エレクトロニクスサービス(株)、(株)PCO

富山市の目指す都市像 ～コンパクトなまちづくりの基本方針～

＜富山市を取り巻く課題＞

- ①人口減少と超高齢化
- ②過度な自動車依存による公共交通の衰退
- ③中心市街地の魅力喪失
- ④割高な都市管理の行政コスト
- ⑤CO2排出量の増大
- ⑥市町村合併による類似公共施設
- ⑦社会資本の適切な維持管理

鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、

公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを実現

富山市が目指すお団子と串の都市構造

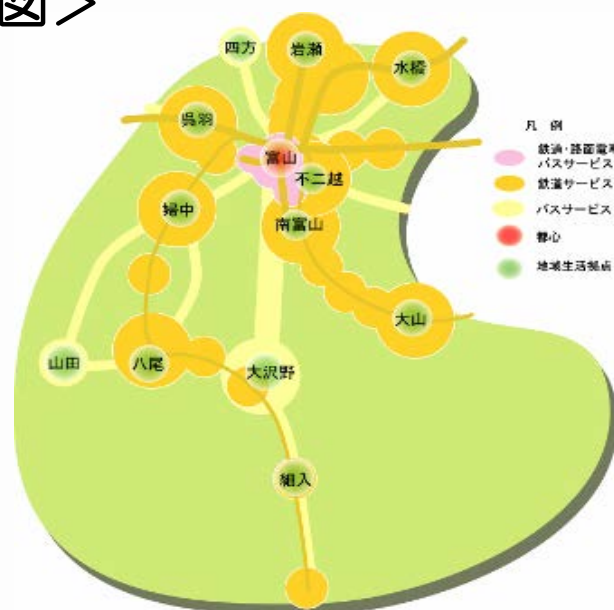
串 : 一定水準以上のサービスレベルの公共交通

お団子: 串で結ばれた徒歩圏

＜実現するための3本柱＞

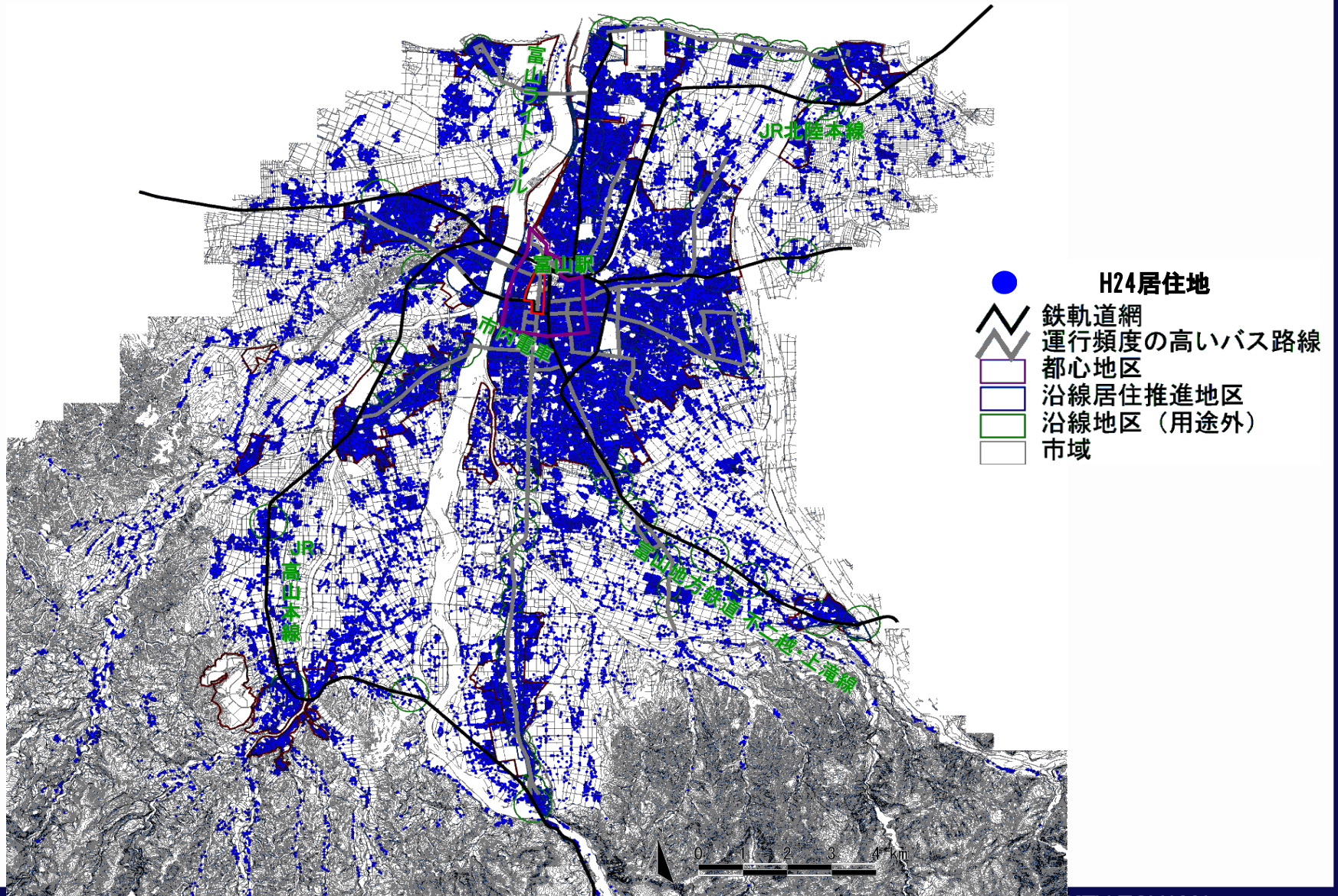
- ① 公共交通の活性化
- ② 公共交通沿線地区への居住促進
- ③ 中心市街地の活性化

＜概念図＞



「歩いて暮らせるまちづくり」には、ICTの活用が大変有効

GIS情報を駆使したコンパクトなまちづくり



GIS情報を駆使したコンパクトなまちづくり

富山ライトレール



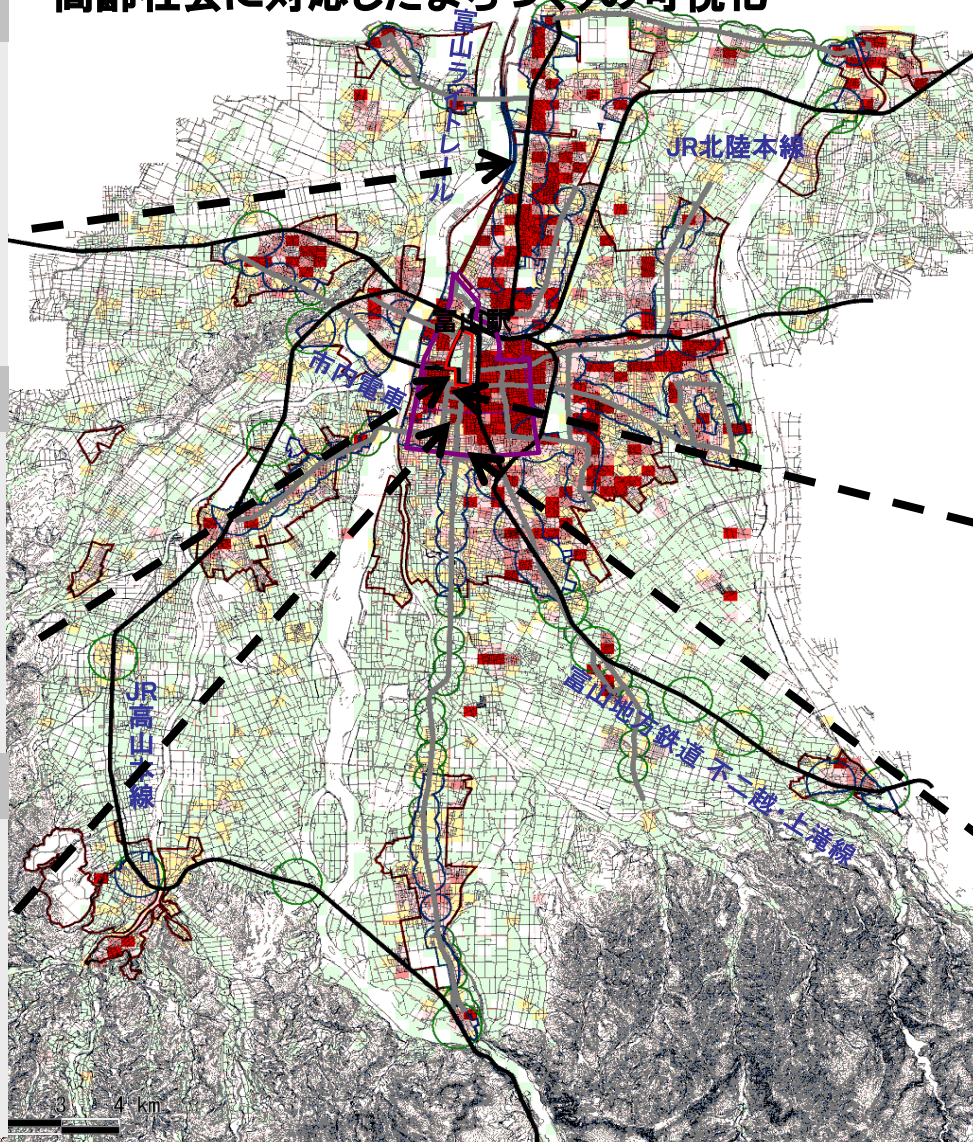
市内電車環状線化事業



アヴィレ



高齢社会に対応したまちづくりの可視化



- 鉄軌道網
- 運行頻度の高いバス路線
- 都心地区
- 沿線居住推進地区
- 沿線地区 (用途外)
- 用途地域
- H24高齢者【25MESH】**
- 25人未満
- 25-49人
- 50-74人
- 75-99人
- 100人以上

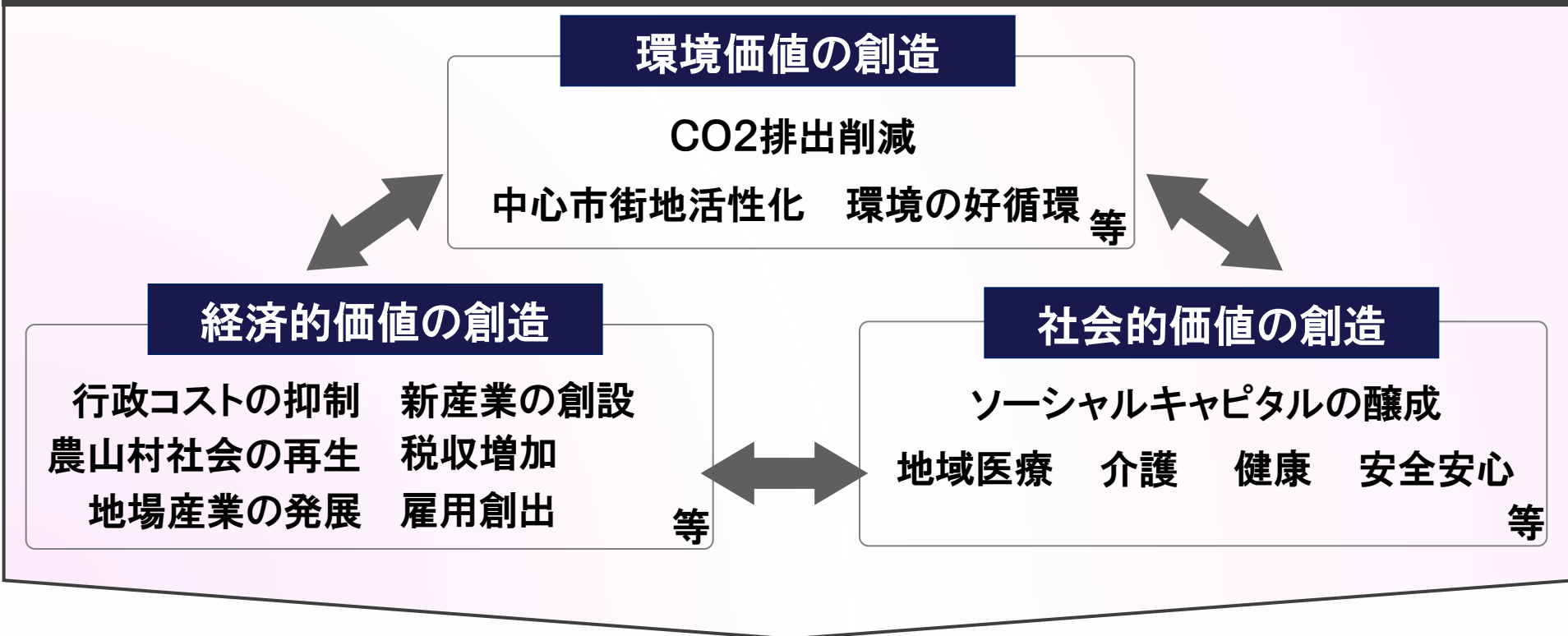
グランドプラザ



角川介護予防センター



コンパクトシティ戦略による富山型都市経営の構築



環境・社会・経済のイノベーションによる未来に開かれた都市へ

生活の質と環境が調和した「満足度の高い暮らし」の創生により、**持続型社会を実現**

環境未来都市での位置づけ ～交通空間の利活用交流推進～

市内電車環状線沿線において、LRTや道路空間を利活用した地元地域によるイベントやオープンカフェ等を実施するとともにICTを活用し、まちあるき情報や公共交通機関のロケーション情報等を配信することにより、公共交通の利用促進やまちの賑わいを目指す

《実施エリア》
大手モールとその周辺地区



平成26年度末 北陸新幹線開業

数年後の北陸本線等の高架化を踏まえ、
南北のLRT(富山ライトレール・市内電車環状線)を接続

世界に類を見ない、新幹線と平面LRTの接続を計画



富山まちあるきICTコンシェルジュ事業

ICTを活用して、まちなかや路面電車内で、まちあるき情報を連携して発信することにより、公共交通と中心市街地の一体的な賑わいを創出し、世代を問わず歩いて出かけたくなる魅力的なまちづくりを行う。

I まちあるきのための情報配信プラットフォーム

II 情報配信・収集のためのICTインフラ整備

III 歩行者動態情報の収集と分析

まちづくりに活用

まちあるきのための情報配信プラットフォーム

情報配信・収集のためのICTインフラ整備



まちなかサインージ スマートフォン



GPS情報



Wi-Fi
スポット

まちあるき情報を配信し、まちの賑わいを創出
歩行者動態情報を分析し、データをまちづくりへ活用

I まちあるきのための情報配信プラットフォーム ～とみコン・デジ～

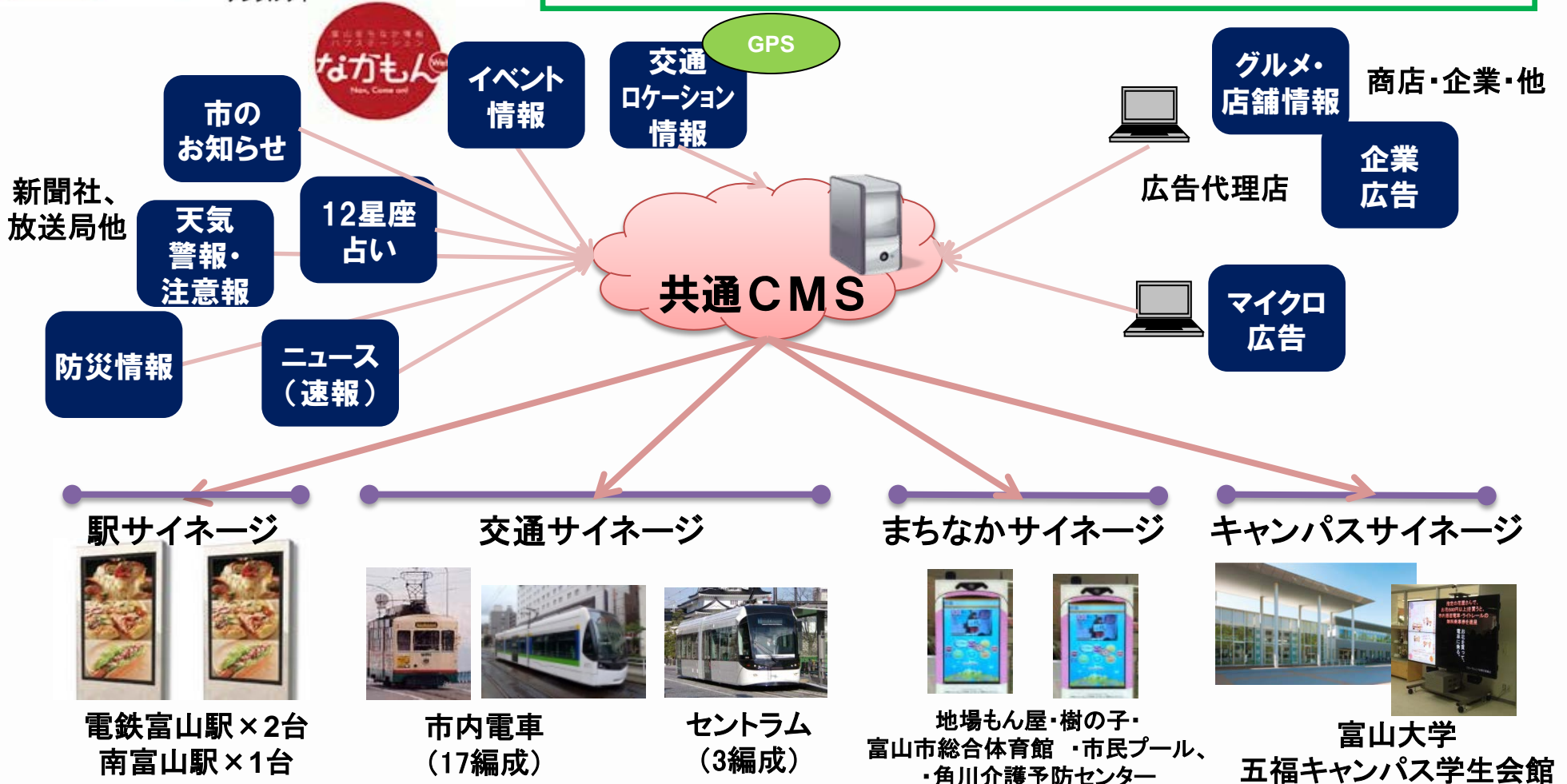


駅、まちなか、電車内の電子看板



とみコン・デジ
デジタルサイネージ

① 駅・公共交通機関・まちなかのデジタルサイネージを連携させて、“まちあるき”のための情報を配信し、公共交通の利便性を向上させるとともにまちの賑わいを創出する。



I まちあるきのための情報配信プラットフォーム

～とみコン・プラス～
～とみコン・ラリー～



②スマートフォンアプリを提供して、“まちあるき”のための情報を手元に配信することで、外出機会の増加やまちなかでの回遊性向上、滞在時間の増加を促し、まちの賑わいを創出する。

「トップ画面」



「イベント情報」



「スポット情報」



「交通ロケーション」



「ピックアップ」



「クーポン」



- スマホ「AR」活用したスタンプラリー
- コンテンツ切替でさまざまなイベントに対応

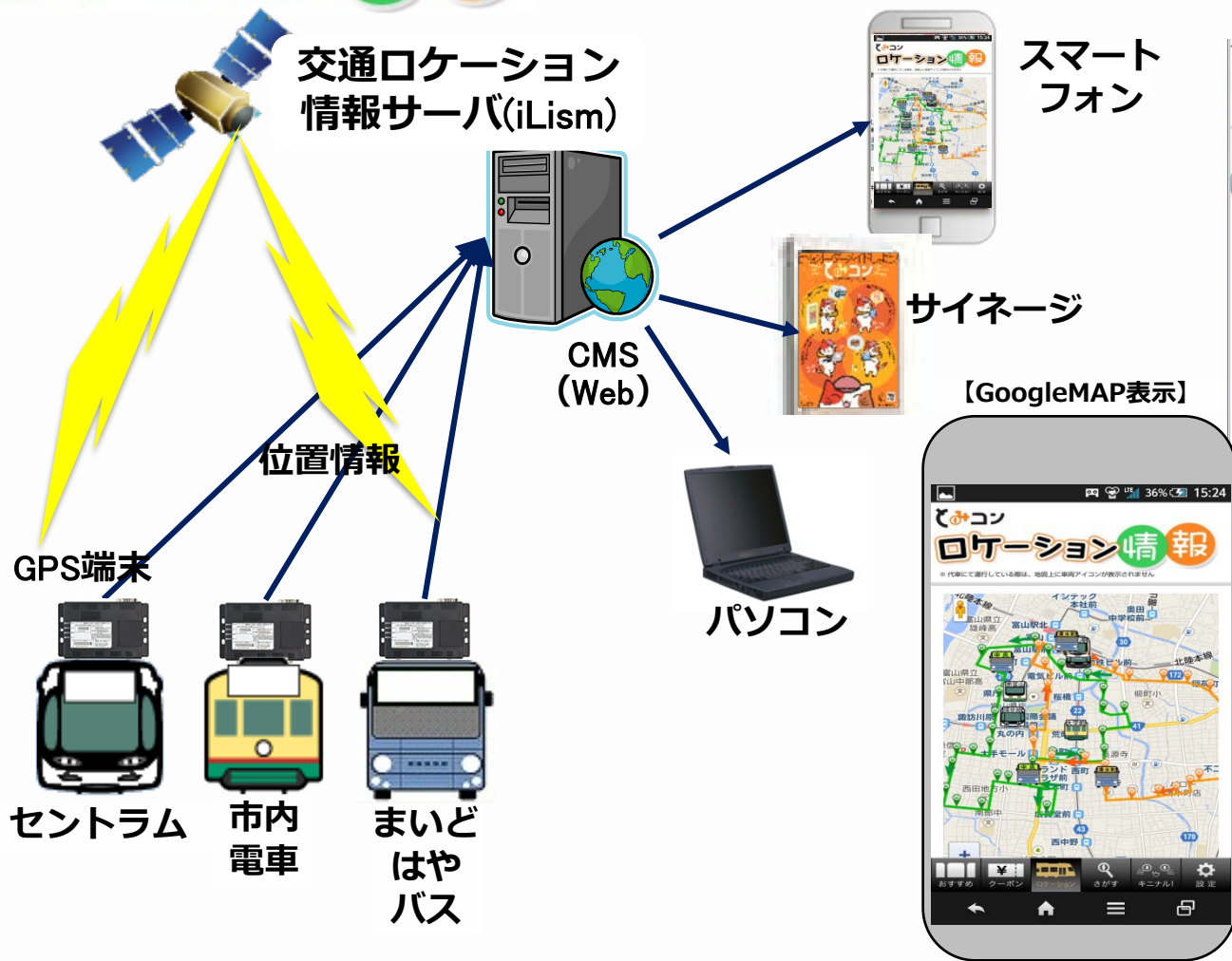
とみコン・クエスト～カターレの宝を探せ～



Ⅱ 情報配信・収集のためのICTインフラ整備 ～とみコン・ロケーション～

とみコン ロケーション情報

① 公共交通機関のロケーション情報を配信するために、中心市街地で運行する路面電車やコミュニティバスにGPS端末を整備



Ⅱ 情報配信・収集のためのICTインフラ整備

～Wi-Fiスポット～



② 駅やまちなかなど人の集まる場所にキャリアフリーのWi-Fiスポットを整備。

岩瀬地区AP整備状況



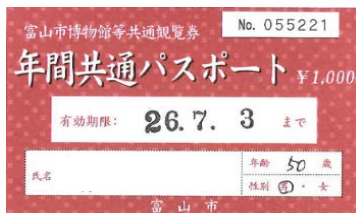
中心市街地AP整備状況



③複数のIDを連携するID連携プラットフォームの開発。

■ID連携プラットフォーム

富山市博物館年間パスポート



【登録】
ICカードをタッチし、年間パスポートの撮影と、有効期限の登録を行う。

交通系ICカード



【利用】
ICカードをタッチすると、登録済みの年間パスポートが表示される

【利用実績参照】
利用実績について、参照ができる。

※年間パスポート画像は暗号化されるため、名前・年齢など個人情報表示は、ICカードのタッチなしには行えない。

- 交通系ICカードと、紙ベースの富山市博物館年間パスポートを連携
- 施設管理者は、利用者が交通系ICカードで入場することで、利用履歴を管理

▶体験会

- ・実施日 平成26年2月15日(土)
- ・場所 富山市民俗民芸村
- ・参加者 28名

▶実績

- ・ICカードを公共施設の会員カードとして活用できるシステムの実証。

▶活用のメリット

- ・初期導入コストの抑制。
- ・ICカード利用による公共交通の利用促進。
- ・公共施設の利用実績のデータを蓄積・分析。

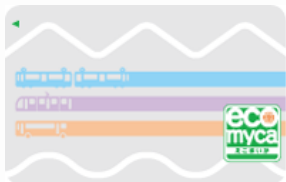
▶今後に向けた課題

- ・このしくみを活用するニーズ
(公共施設での導入等の活用検討)

Ⅲ 歩行者動態情報の収集と分析

人の動線、活動状況、イベント効果等を把握することにより、今後のまちづくり計画に活用する。

② 交通ICカードの乗車データ



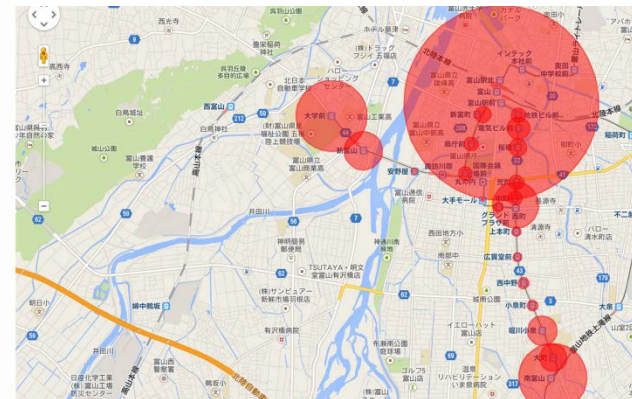
・富山地方鉄道株式会社の通ICカード「えこまいか」の記録データ（12月1日～1月31日）を使用

データ項目

利用日、利用分類（軌道（=市内電車）、鉄道、バス）
降車駅、降車時間、乗車駅、乗車時間、

▶ 駅毎の降車数

・降車数を円の大きさと表現



▶ 降車駅、乗車駅の情報を可視化

・降車数を地図上に数字と色で表示



▶ 降車駅、乗車駅の情報を可視化

・乗車駅を始点とし、降車する上位5駅を終点とする矢印で表示。



Ⅲ 歩行者動態情報の収集と分析

人の動線、活動状況、イベント効果等を把握することにより、今後のまちづくり計画に活用する。

③ Wi-Fiスポットからの接続記録データ分析



・ 2013年11月～2014年2月までの
4ヶ月間のアクセス記録を使用

▶ 端末の接続数

・ 接続端末数を円の大きさと表現



▶ 端末の動き

・ 移動数を矢印の色で表現



④ スマートフォンアプリで集めたGPS情報

▶ 端末の動き



I まちあるきのための情報配信プラットフォーム

情報配信プラットフォーム

「とみコン・デジ」と「とみコン・プラス」のコンテンツの管理を一元化し、より利用される情報ツールとして、今後も継続して公開・運営できる事業モデルを検討する。

II 情報配信・収集のためのICTインフラ整備

公共交通ロケーション情報

北陸新幹線開通に向け整備が進む富山駅で、公共交通情報案内システムへの導入やスマートフォンとの連携、路線バスへの拡大などを検討する。

III 歩行者動態情報の収集と分析

データ分析とその活用

収集した各データの分析を進めるとともに、データの商業利用、交通政策、中心市街地活性化策等において、ICTを活用したまちづくりの検討を行なう。

環境未来都市計画「交通空間の利活用交流推進」のプロジェクトチームで引き続き検討を行なう。